

すてきな学校

私は、大学院のゼミ参加のため、2ヶ月に一度程度、往復夜行バス利用の日帰りで東京へ行きます。

下車は、その日の予定により、東京駅か上野駅になります。

国会図書館をよく使うので、その予定があるときは東京駅で下車します。その予定がなくゆっくりできるときは、上野駅で下車し、上野公園の西郷さんに挨拶し、ぶらぶら歩いて湯島へ向かい、湯島天神で参拝します。近年、湯島天神には、子供・自分の受験には大変お世話になっております。(笑)

自宅の鎮守様以外で一番よく参拝する神社ではないでしょうか。

さて、本題は神社ではない。

J R御徒町駅から湯島天神へ向かう筋に小学校があります。

台東区立黒門小学校です。

ビルが林立している大都会の中にあるレトロな雰囲気です。

仕事柄、学校には興味があり、「観察」してしまいます。

無知による偏見ですが、東京の小学校は、グラウンドが土でないコンクリートのイメージがぬぐい去れません。

もちろんそのような学校は多いでしょうが、そんな学校ばかりではないようです。

校舎の外見だけでなく、校庭には、季節の花が植えられ、土や木など自然で囲まれています。

これで何度学校を眺めたことでしょうか？

さて、9月末にも学校の前を通りました。

校門の掲示板には学校便りが掲示され、読ませていただきました。

夏休みのこと、新学期が始まったことなど学校の様子がよくわかりました。

校長先生は、

- ・終戦の日のことと関わり、外国と仲良くお付き合いすることの大切さから、友達同士のコミュニケーションの大切さ
- ・東京が空襲されたときも地域の方々は「自分の家より学校を守れ！」という意気込みで、火災等から学校を守ってくれた大切な校舎であること

を語っておられました。そんな歴史がある学校であることがわかりました。

そして、9月の生活目標は、

- ・規則正しい生活をする
- ・時間を守る
- ・挨拶をする

などなど、小学生として生活上大切な基本がうたわれていました。

あれ？「勉強」という言葉がない？

今日、教育の話題の1つは学力、“勉強しよう”“があるのかと思いきやそうではなかった。

良い生活ができれば学力がついてくるのだろう。

元気な子供たち、笑顔で子供を迎える先生達をイメージしながら湯島天神へ向かいました。

これからも東京通いが続きそうなので、たまに前を通ろうと思います。

